

R2年度の食品ロス削減施策の主な方向性

<事業系食品ロス>

- ・ 流通段階での1/3ルール等の商慣習が食品ロスの大きな要因となっていることから、引き続き、消費者と事業者への働きかけを両輪で実施し、商慣習見直しを推進
 - ①取組事業者の拡大
 - ②消費者の理解の促進
- ・ 県内の事業者からの食品ロス量は、4業種の中で外食産業からの発生割合が最も多いことから、外食時における食べきりをより一層推進
 - ①「食べきり3015」の周知徹底
 - 〔県西部地域への重点的な普及啓発〕
 - ②「食べきりサイズメニュー」の導入促進



<家庭系食品ロス>

- 県内の家庭からの食品ロスは、全国に比べて手付かず食品の割合が多いことから、手付かず食品の削減を推進
- ①「使いきり3015」の実践拡大や定着化
 - ②取組みの実践による削減効果のPR
 - ③削減に効果的で楽しい取組みの普及



富山県食品ロス削減
推進計画の策定(R2.4)

- ・ 食品ロス削減の推進に関する法律第12条に基づく国の基本方針を踏まえた都道府県の区域内における計画(都道府県計画)として策定
- ・ これまでの県民会議における基本方針や取組み、食品ロス削減推進法に盛り込まれた基本施策をもとに県計画を作成

食品ロス削減
全国大会の開催

- ・ 県内で第4回食品ロス削減全国大会を開催し、市町村、事業者、消費者団体との連携強化と更なる取組みの加速化を図る。
 - ・ これまでの先駆的な取組みを全国に発信する。
- 開催テーマ: 使いきり 食べきり すっきり エコライフ

食品ロス削減に向けた今後の展開

県計画の策定及び全国大会の開催を契機として、持続可能な社会の実現を目指し、富山県が食品ロス削減のフロントランナーとして、取組みのより一層の加速化を図る。

重点的な取組み(案)

<全体>

- ・ 食品ロス等削減の機運の醸成(表彰の実施、3015運動の推進 等)
- ・ 子どもを中心とした若い世代に対する重点的な普及啓発
- ・ 消費・賞味期限の違いに関する重点的な普及啓発

<事業系食品ロス>

- ・ 商慣習見直し宣言事業者の取組みの拡大
- ・ 未利用食品の有効活用の推進

<家庭系食品ロス>

- ・ 手付かず食品の使いきり及び有効活用の促進
- ・ 楽しみながら食品ロスを削減する機会の創出

